



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月31日

上場会社名 株式会社 ジェイテック

上場取引所 東

コード番号 2479 URL <http://www.j-tec-cor.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤本 彰

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 小川 典男

TEL 03-6228-7265

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	1,518	9.9	15	76.1	14	76.8	3	90.6
29年3月期第2四半期	1,685	3.5	62	365.5	62	385.8	34	1,825.3

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 13百万円 (65.6%) 29年3月期第2四半期 38百万円 (559.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	0.38	
29年3月期第2四半期	4.03	3.97

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	1,779	799	44.9	93.34
29年3月期	1,819	803	44.2	93.79

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 799百万円 29年3月期 803百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		2.00	2.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,428	2.9	102	17.6	101	18.0	71	20.7	8.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	8,572,400 株	29年3月期	8,572,400 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	2,800 株	29年3月期	2,800 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	8,569,600 株	29年3月期2Q	8,545,377 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和等を背景に、設備投資や企業収益、雇用情勢の改善傾向が続き、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、新興国の経済成長鈍化懸念、米国の金融政策の不透明感、東アジア・中東地域における地政学リスク等、依然として世界経済の不確実性を高める課題は山積しております。

このような状況の中、当社グループの主力事業である技術職知財リース事業においては、主要取引先である自動車業界での自動運転技術実用化に向けた取り組み等を背景として、自動車関連分野やソフトウェア開発分野のテクノロジスト需要が堅調に推移いたしました。また、営業施策の強化により、平成29年4月入社の新卒テクノロジストの早期配属、既存テクノロジストの高付加価値業務への配属を推し進めた結果、稼働率・契約単価ともに前年同期を上回りました。

一方で、技術系人材の獲得競争が激化している中、新規採用の強化を図ってまいりましたが、計画どおりのテクノロジスト確保は厳しく、人材不足により案件に対応しきれない状況にありました。

費用面においては、前期より継続して全社を挙げた業務効率化による販売費及び一般管理費の抑制を推し進めました。それにより、販管費率は前年同期と同水準となり、利益獲得に寄与いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,518,372千円（前年同期比9.9%減）、営業利益15,007千円（前年同期比76.1%減）、経常利益14,448千円（前年同期比76.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,250千円（前年同期比90.6%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 技術職知財リース事業

情報処理関連や半導体・集積回路関連分野の顧客企業からの取引が前年同期より増加したものの、他分野の減収をカバーできず、事業全体の売上高が減少となった結果、売上高は1,447,632千円（前年同期比9.0%減）、セグメント利益は168,976千円（前年同期比22.5%減）となりました。

## ② 一般派遣及びエンジニア派遣事業

情報処理関連の分野で一部技術職知財リース事業へシフトしたこともあり、事業全体の売上高が減少となったものの、販売費及び一般管理費の削減により、売上高は75,562千円（前年同期比20.3%減）、セグメント利益は3,498千円（前年同期は7,703千円のセグメント損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は1,779,541千円となり、前連結会計年度末より39,547千円の減少となりました。これは主に売掛金の減少64,954千円、敷金及び保証金の増加12,284千円によるものであります。

負債合計は979,638千円となり、前連結会計年度末より35,747千円減少いたしました。これは主に長期借入金の返済による減少50,494千円、未払法人税等の減少28,426千円、未払費用の増加23,802千円によるものであります。

純資産合計は799,902千円となり、前連結会計年度末より3,799千円の減少となりました。これは主に剰余金の配当による減少17,139千円、その他有価証券評価差額金の増加8,289千円によるものであります。

なお、自己資本比率は44.9%と前連結会計年度末の44.2%に比べ0.7ポイント上昇いたしました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ9,959千円増加(前年同期は485,452千円の増加)し、1,126,217千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は92,104千円(前年同期は89,918千円の収入)となりました。これは主に法人税等の支払額32,707千円、未払金の減少額18,370千円等による資金の減少があったものの、売上債権の減少額64,954千円、未払費用の増加額23,802千円、預り金の増加額22,419千円等により資金が増加したことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は14,373千円(前年同期は299千円の支出)となりました。これは主に敷金及び保証金の差入による支出14,226千円等により資金が減少したことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は67,770千円(前年同期は395,832千円の収入)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出50,494千円、配当金の支払額16,979千円等により資金が減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月9日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,116,257	1,126,217
売掛金	430,771	365,816
仕掛品	1,060	3,634
繰延税金資産	60,318	60,318
その他	46,775	43,196
貸倒引当金	△877	△749
流動資産合計	1,654,307	1,598,435
固定資産		
有形固定資産	12,823	11,909
無形固定資産		
のれん	40,430	34,210
その他	4,118	3,344
無形固定資産合計	44,548	37,554
投資その他の資産		
敷金及び保証金	64,181	76,465
その他	43,228	55,176
投資その他の資産合計	107,409	131,641
固定資産合計	164,781	181,106
資産合計	1,819,088	1,779,541
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	102,688	102,688
未払金	114,208	96,471
未払費用	47,012	70,814
未払法人税等	42,975	14,548
未払消費税等	40,619	36,393
賞与引当金	150,431	165,121
その他	22,434	44,857
流動負債合計	520,370	530,895
固定負債		
長期借入金	349,420	298,926
繰延税金負債	6,569	10,228
退職給付に係る負債	137,363	138,281
その他	1,662	1,307
固定負債合計	495,016	448,743
負債合計	1,015,386	979,638
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	261,834	261,834
資本剰余金	246,328	246,328
利益剰余金	277,825	263,937
自己株式	△659	△659
株主資本合計	785,329	771,441
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,739	26,028
退職給付に係る調整累計額	633	2,432
その他の包括利益累計額合計	18,372	28,461
純資産合計	803,702	799,902
負債純資産合計	1,819,088	1,779,541

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	1,685,982	1,518,372
売上原価	1,273,232	1,188,792
売上総利益	412,750	329,580
販売費及び一般管理費	350,078	314,572
営業利益	62,672	15,007
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	275	220
助成金収入	450	300
その他	232	185
営業外収益合計	958	706
営業外費用		
支払利息	1,309	1,265
営業外費用合計	1,309	1,265
経常利益	62,321	14,448
税金等調整前四半期純利益	62,321	14,448
法人税、住民税及び事業税	13,701	11,197
法人税等調整額	14,152	—
法人税等合計	27,853	11,197
四半期純利益	34,468	3,250
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	34,468	3,250

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	34,468	3,250
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,571	8,289
退職給付に係る調整額	2,750	1,799
その他の包括利益合計	4,321	10,089
四半期包括利益	38,789	13,339
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38,789	13,339
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	62,321	14,448
減価償却費	3,459	2,683
のれん償却額	6,219	6,219
受取利息及び受取配当金	△276	△220
支払利息	1,309	1,265
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,206	14,689
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,255	△2,573
売上債権の増減額(△は増加)	36,900	64,954
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,213	2,717
未払金の増減額(△は減少)	△16,987	△18,370
未払費用の増減額(△は減少)	3,200	23,802
未払消費税等の増減額(△は減少)	4,528	△4,226
預り金の増減額(△は減少)	272	22,419
その他	3,544	△1,993
小計	104,245	125,815
利息及び配当金の受取額	276	220
利息の支払額	△1,464	△1,224
法人税等の支払額	△13,137	△32,707
営業活動によるキャッシュ・フロー	89,918	92,104
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△428	△498
投資有価証券の売却による収入	—	92
敷金及び保証金の差入による支出	△372	△14,226
敷金及び保証金の回収による収入	500	259
投資活動によるキャッシュ・フロー	△299	△14,373
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100,000	—
長期借入れによる収入	520,000	—
長期借入金の返済による支出	△15,698	△50,494
配当金の支払額	△8,437	△16,979
株式の発行による収入	262	—
リース債務の返済による支出	△294	△297
財務活動によるキャッシュ・フロー	395,832	△67,770
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	485,452	9,959
現金及び現金同等物の期首残高	700,623	1,116,257
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,186,075	1,126,217

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	技術職知財 リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,591,144	94,838	1,685,982	—	1,685,982
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	1,591,144	94,838	1,685,982	—	1,685,982
セグメント利益又は損失(△)	218,097	△7,703	210,393	△147,721	62,672

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額(△147,721千円)の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	技術職知財 リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,447,632	70,740	1,518,372	—	1,518,372
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	4,822	4,822	△4,822	—
計	1,447,632	75,562	1,523,195	△4,822	1,518,372
セグメント利益	168,976	3,498	172,475	△157,467	15,007

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額(△157,467千円)の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。